

全日本トラック協会は、「安全性優良事業所認定制度（Gマーク制度）」のさらなる普及促進と荷主理解を求めて、2月24日（火）の日本経済新聞朝刊に、中西英一郎会長とキャスターで千葉大学特命教授の木場弘子さんとの対談企画広告を掲載しました。また2月23日から3月1日にかけて、荷主業界機関紙、専門紙に対しても、同制度をPRする広告を掲載しました。

広告

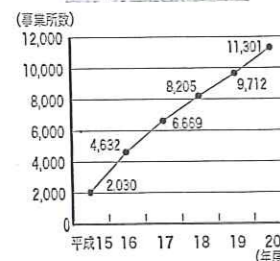


**安全性優良事業所**  
有効期間（2年間）：2009年1月1日～2010年12月31日  
国土交通大臣指定  
全国貨物自動車運送適正化事業実施機関

**Gマークのポイント**



**増えつづける Gマーク認定事業所**



# ご存知でしたか？ 「Gマーク」のトラックを



全日本トラック協会 会長  
中西 英一郎



キャスター・千葉大学特命教授  
木場 弘子氏

## Gマークで安全・安心を提供

街の中で大々的にGマークのトラックが増え、目撃されるようになりました。これは、Gマークと称されるトラックを多く見られるので、安全性の高いと受け取られるようになったのです。

「法令の遵守」「事故と違反」「安全への取組み」

厳しい評価基準

「法令の遵守」「事故と違反」「安全への取組み」

「Gマーク」の認定は、厳しい評価基準に基づいて行われます。この基準は、法令の遵守、事故と違反の状況、安全への取組みの3つの観点から評価されます。

有効期間は初回2年、更新の都度必要な評価

更新の都度必要な評価



認定証番号  
2405630 (1)



## 安全性優良事業所認定証

事業所名：有限会社金山建商  
本社営業所

住所：大阪府池田市宇保町13-7

上記事業所は、平成24年度貨物自動車運送事業安全性評価事業において、貨物自動車運送事業法に規定する輸送の安全確保等に関する下記事項について評価した結果「安全性優良事業所」として認定したことを証します。

- 評価事項
- I. 安全性に対する法令の遵守状況
  - II. 事故や違反の状況
  - III. 安全性に対する取組の積極性

有効期間 平成25年1月1日～平成27年12月31日  
(3年間)

平成24年12月20日

国土交通大臣指定  
全国貨物自動車運送適正化事業実施機関  
公益社団法人 全日本トラック協会

会長 星野良三



JTA 社団法人 全日本トラック協会 都道府県トラック協会

http://www.jta.or.jp

評価点数一覧表

事業所名	有限会社金山建商 本社営業所
------	----------------

I. 安全性に対する法令の遵守状況

中項目	小項目	配点	点数
1. 事業計画等	(1) 乗務員の休憩・睡眠施設の保守、管理は適正か。	1	
2. 帳票類の整備、報告等	(1) 事故記録が適正に記録され、保存されているか。	1	
	(2) 運転者台帳が適正に記入等され、保存されているか。	1	
	(3) 車両台帳が整備され、適正に記入等されているか。	1	
3. 運行管理等	(1) 運行管理規程が定められているか。	1	
	(2) 運行管理者に所定の研修を受けさせているか。	1	
	(3) 事業計画に従い、必要な員数の運転者を確保しているか。	1	
	(4) 過労防止を配慮した勤務時間、乗務時間を定め、これを基に乗務割が作成され、休憩時間、睡眠のための時間が適正に管理されているか。	3	
	(5) 過積載による運送を行っていないか。	3	
	(6) 点呼の実施及びその記録、保存は適正か。	3	
	(7) 乗務等の記録（運転日報）の作成・保存は適正か。	3	
	(8) 運行記録計による記録及びその保存・活用は適正か。	1	
	(9) 運行指示書の作成、指示、携行、保存は適正か。	1	
	(10) 乗務員に対する輸送の安全確保に必要な指導監督を行っているか。	3	
	(11) 特定の運転者に対して特別な指導を行っているか。	1	
	(12) 特定の運転者に対して適性診断を受けさせているか。	2	
4. 車両管理等	(1) 整備管理規程が定められており、これに基づき、適正に整備管理業務がなされているか。	1	
	(2) 整備管理者に所定の研修を受けさせているか。	1	
	(3) 日常点検基準を作成し、これに基づき点検を適正に行っているか。	1	
	(4) 定期点検基準を作成し、これに基づき、適正に点検・整備を行い、点検整備記録簿等が保存されているか。	3	
5. 労基法等	(1) 就業規則が制定され、届出されているか。	1	
	(2) 36協定が締結され、届出されているか。	1	
	(3) 労働時間、休日労働について違法性はないか（運転時間を除く）。	1	
	(4) 所要の健康診断を実施し、その記録・保存が適正にされているか。	1	
6. 運輸安全マネジメント	運輸安全マネジメントを的確に実施し、輸送の安全に関する計画の作成、実行、評価及び改善の一連の過程を円滑に進めている。	3	
小計		40	40

※注意：申請の際に本項目について「評価を希望しない」と選択した場合の点数は、小計欄に前回数（平成22年度）の合計点のみを記載します。ただし、平成22年12月1日以降に巡回指導を受けた場合は、評価の希望の有無に関わらず直近の巡回指導結果に基づく点数が得点となります。

II. 事故や違反の状況

中項目	小項目	配点	点数
1. 事故の実績	平成24年11月30日から過去3年間に、事業所の事業用自動車に有責の第一当事者となる、自動車事故報告規則（国土交通省令）第2条各号に定める事故がないか。	20	20
2. 違反（行政処分）の実績	平成24年11月30日において、事業所に、貨物自動車運送事業法に基づく行政処分の点数が付加されていないか。また、点数がある場合には、当該事業所に係る行政処分の累積点数は何点か。	20	20
小計		40	40

III. 安全性に対する取組の積極性

自認項目	配点	点数	
1 事故防止対策マニュアル等を活用している。	2 該当	2	
2 事業所内で安全対策会議（安全に関するQC活動を含む。）を定期的実施している。	3	3	
3 荷主企業、協力会社又は下請会社との安全対策会議を定期的実施している。	2	2	
4 自社内独自の運転者研修等を実施している。	3 該当	3	
5 外部の研修機関・研修会へ運転者等を派遣している。	2 該当	1	
6 特定の運転者以外にも適性診断（一般診断）を計画的に受診させている。	2	2	
7 安全運行につながる省エネ運転を実施し、その結果に基づき個別の指導教育を実施している。	1	1	
8 定期的に「運転記録証明書」を取り寄せ、事故、違反実態を把握して、個別指導に活用している。	2	2	
9 グリーン経営認証やISO（9000シリーズ又は14000シリーズ）を取得している。	1	*	
10 過去に行政、外部機関、トラック協会から、輸送の安全に関する表彰を受けたことがある。	1	1	
11 その他輸送の安全に関する自主的、積極的、独創的、先進的又は高度な取組を実施している。	1	0	
小計		20	17

※注意：申請の際に資料の提出の無い項目は、「\*」印で表示しています。

◆安全性評価項目 総合点数

	配点	点数
I 安全性に対する法令の遵守状況	40	40
II 事故や違反の状況	40	40
III 安全性に対する取組の積極性	20	17
合計	100	97

貨物自動車運送事業安全性評価事業  
評価結果通知書（認定通知）

事業所名 有限会社金山建商 本社営業所

代表者名 金山 龍祥 殿

全国貨物自動車運送適正化事業実施機関  
公益社団法人 全日本トラック協会  
会長 星野良



貴事業所からの平成24年度貨物自動車運送事業安全性評価申請について、貨物自動車運送事業安全性評価規程第5条第1項及び第8条の2第5項の規定に基づき評価を決定しましたので、評価結果を下記のとおり通知します。

なお、貴事業所を同規程第6条第1項及び第8条の2第10項の規定に基づき、安全性優良事業所として認定しましたので、同規程第7条及び第8条の2第12項の規定に基づき合わせて通知します。

記

【評価結果】

評価項目(配点)	点数	認定基準点数
I. 安全性に対する法令の遵守状況 (配点40点)	40点	32点以上
II. 事故や違反の状況 (配点40点)	40点	21点以上
III. 安全性に対する取組の積極性 (配点20点)	17点	12点以上
合計	97点	80点以上

(注)

- 1：認定事業所については、安全性優良事業所認定証を授与するとともに、安全性優良事業所を表示するマーク及びステッカー（以下「認定マーク及び認定ステッカー」という。）の使用を許可します。
- 2：認定の有効期間は、平成25年1月1日から平成27年12月31日までの3年間とします。
- 3：本評価結果通知書（認定通知）に関する問い合わせ先は、下記のとおりです。  
全国貨物自動車運送適正化事業実施機関・(公社)全日本トラック協会 適正化事業部  
TEL：03-5323-7245 FAX：03-5323-7230

【添付資料】

- ① 各評価項目毎の評価点数一覧表